



2021年4月27日

鈴与商事ニュースリリース

鈴与商事株式会社
経営企画部長 佐野 博紀

菊川市への「RE100電気」の供給開始について

鈴与商事株式会社（本社：静岡県静岡市清水区入船町11-1／本部：静岡県静岡市葵区栄町1-3 鈴与静岡ビル／資本金：20億円／代表取締役社長：加藤 正博、以下、鈴与商事）と電源開発株式会社（東京都中央区銀座6丁目15-1）の共同出資会社である鈴与電力株式会社（本社：静岡県静岡市葵区栄町1-3 鈴与静岡ビル／資本金5千万円／代表取締役社長：杉山高広、以下、鈴与電力）は、2021年4月より菊川市（市長：長谷川 寛彦）に対して、100%再生可能エネルギー由来となる「RE100電気」の供給を開始しましたことをお知らせ致します。

鈴与商事と菊川市は、地域経済の活性化やエネルギーの地産地消、環境負荷の低減を目指した取り組みについて協議して参りました。

今回、菊川市の市有施設のうち、市民との関わりの深い「菊川文化会館アエル（静岡県菊川市本所2488-2）」と「菊川市棚草最終処分場浸出水処理施設（静岡県菊川市棚草1050-8）」の2施設へ「RE100電気」の供給を開始致します。尚、「菊川文化会館アエル」については、指定管理者である株式会社SBSプロモーション（静岡県静岡市駿河区森下町1-35）の協力を得て実現しており、民間企業である指定管理者と協力し、「RE100電気」による官民連携での施設運営は、県内初の取り組みとなります。

また、当該2施設に供給する「RE100電気」は、菊川市内の小水力発電所（大井川用水菊川幹線西方発電所）から発電した再生可能エネルギーであるFIT電気と、非化石証書を組み合わせ合わせた電力を活用します。これにより「RE100電気」の供給と併せて、エネルギーの地産地消も同時に実現します。

1. 菊川市としての事業効果

菊川市内の小水力発電所から発電した再生可能エネルギーによる電力を積極的に市有施設で活用し、単に温室効果ガスの削減を図るだけでなく、菊川市の率先した取り組みを積極的に情報発信していくことで、市民や事業者の皆様の地球温暖化に対する意識醸成を図ります。

今後は、本取り組みの効果を検証し、対象施設の拡大を検討していく中で、更なる再生可能エネルギーの普及拡大に努めて参ります。

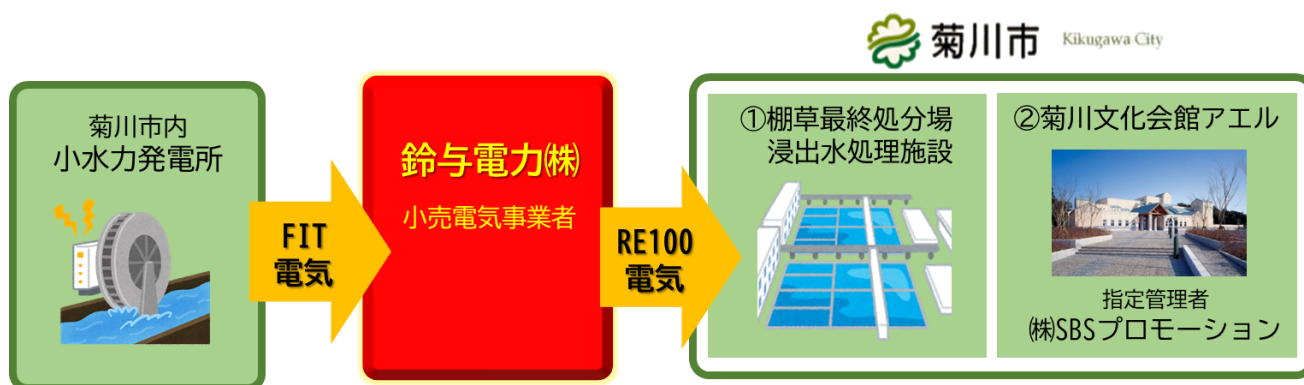
2. 鈴与商事としての今後の取り組み方針について

鈴与商事は、今回の菊川市との取り組みの他、「ゼロカーボンシティ」を宣言した静岡市（市長：田辺 信宏）の市役所庁舎（葵区役所、駿河区役所、清水区役所）に対しても、100%再生可能エネルギー由来となる「RE100電気」を供給開始しております。

現在、国内のあらゆる地域において、脱炭素社会に向けた具体的な施策が求められており、今回の菊川市への「RE100電気」の供給は、具体的な取り組み事例として、全国に先駆けて実践し、地域から発信する事業となります。

今後も、本取り組みで培った知見をベースとして、脱炭素社会の実現に資する様々な施策を創造し、全国の各自治体や企業と一緒に課題解決に取り組んで参ります。

【事業スキーム】



※ 供給電力量：年間 611,933 kwh

※ 供給期間：2021年4月～2022年3月

※ 温室効果ガス削減量：年間 286 t-CO₂

(供給電力量、温室効果ガス削減量は2019年度実績)

以上

《本件に関する問い合わせ先》

鈴与商事株式会社
経営企画部

054-273-7832

s-info@ss.suzuyoshoji.co.jp